

## 現役とのシニアクラブ連携強化懇談会を開催

七月四日午後、ラポール京都会議室にて、「JAM京滋・京都府連絡会とJAM京都シニアクラブとの連携強化懇談会」を、現役は青山勲会長以下、各地協議長4名と事務局長、JAM京滋書記長に出席いただき、シニアは木村正次会長以下、副会長など幹事会メンバー6名が出席し開催した。

現役から春闘の結果についての説明をいただいた後、シニアクラブの組織状況を説明、特に組織人員の減少と高齢化についてその背景を含め説明、従来から取組んでいる会員加入活動を活性化させることは当然のこととして、特に①退職者組織のない単組での組織の設立に協力いただくこと、②JAM京都OBの会への個人加入の呼びかけをいただくことを中心に、シニア組織の活性化への協力要請を行った。

現役からは、中小が主体の京都府連絡会では、大手の単組はすでに組織化されており、これら以外の単組での組織化は難しいが、各地協単位で、役員OBを中心に組織を作り、地協内単組の退職者に呼び掛けていくという方式は検討が可能なこと、また役員経験者が定年を迎える段階で、シニア組織からオルグをかければどうか、など具体的な提案をいただいた。

引き続き「JAM政策実現活動 Project Q」の取組について、その取組内容や、時系列について確認、七月末に開催される京都の「TANA会」への参加要請を受け、来夏参院選における田中ひさや氏の必勝に向けた現・退一致した取組みの実施を確認した。短時間ではあったが、お互いの認識を深め、今後の取組みの方向を確認することができた。

